



# 未来を夢見て

2021/1/18 No. 56

## 卒業式までのカウントダウンカレンダー・出前授業、そして素敵な情景

連日厳しい寒さが続いています。この週末はやや厳しい寒さもやわらぎました。暦の上ではこれから大寒に向かい1年でもっとも寒さの厳しい時期に向かいます。感染症への警戒レベルが1つ上がって、益々学校をめぐる環境は厳しさを増しますが、健康管理には十分に留意しながら年度末を迎えたいところです。

3学期からスタートしたホームページでの「卒業式までのカウントダウンカレンダー」皆さんとても質の高い内容を書いていただいているので、毎日楽しみにしています。6年生の廊下にはこの3か月の過ごし方についてのテーマ（目標）が掲示されています。私たち教職員も「自覚」「和」そして「感謝の気持ち」を大切に過ごしたいものです。

さて、1月15日（金）、5年生では河北新報社の2名をゲストティーチャーにお招きし、出前授業が行われました。講師は編集局報道部 兼 防災・教育室 主任 末永智弘様、防災・教育室 丹野綾子様のお二人です。今年度5年生はコロナ禍の影響で、予定していたテレビ局の見学ができず、それでも何とか情報に関わる方のお話を伺うことで、子供たちに社会科の学習を進めてほしい、という願いで企画された内容でした。

新聞記者の方々なので、子供たちの前で話すことは慣れていないことは当たり前ですが、5年生の子供たちは、新聞が自宅に届くまでの過程や、実際にお二人が書かれた記事を目の当たりにして、新聞がただ情報を伝えるだけの手段ではなく、そこに多くの皆様の思いや願いが込められていることにも気付くことができました。

今年で東日本大震災から10年。河北新報社の記者の皆様にとっても、大切な節目の年。震災の教訓を風化させてはいけない、という熱い思いも子供たちに届けていただきました。

さて、一番下のスケッチ、いかがですか？

この絵は、池山潤子先生に今年度の大和町の論文集の表紙絵として描いていただいたものです。これまで、論文の表紙絵は、中学校の美術科の先生が依頼され、描いてくださっていたのですが、今年は、小野小学校に依頼があり、どなたにお願いしたものか？と思案していたところ、池山先生に快くお引き受けいただき、このように見事に仕上げてくださいました。私は、全く絵心がないので、このように描くことができる池山先生の才能に改めて感心させられました。

この絵の情景について「表紙絵について」の中で詳しく触られています。ここでは省略しますが、皆さんはどうぞこの絵から二人が何を話しているのか、想像してみてください。

ちなみに少年が読んでるのは「水仙月の四日」少女が読んでるのは「われらの時代」。時は、2020年秋、注文の多い料理店の学習を終えた5年生の教室、とのことでした。ピンチの時はいつもさりげなく助けてくださる池山先生、これからも頼りにしています。

(文責：手代木)

